

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資料保存伝承事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	③教育、文化の進行に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	434,655円 (うち支援金: 325,000円)

### 事業内容

下諏訪町内の写真館などに数多く残されている歴史的写真や古い御柱祭等の8ミリ映像などをデジタル化すると同時に聞き取り調査を行い文字情報も含めた形で保存するとともに、写真展を開催し、多くの方にご覧いただいた。

また子どもから老人まで自分の住んでいる町を深く理解し、また懐かしく感じ、愛着を持ち、地域の活力へとつなげていくことを目的とし、各家庭にある歴史的写真を持ち寄り話し合うワークショップの開催などを行った。

1. 町内の歴史的写真・映像の保存
2. 歴史写真展の開催
3. ワークショップ「写真昔語り」の開催
4. デジタル化した写真の提供、映像の貸出

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①町内の歴史的写真を1,080枚、16mmフィルム2本をデジタル保存することができた。
- ②写真展を計3回実施し、多くの方が来場するとともに、当時のことを話し合う姿が多くみられた。
- ③ワークショップ「写真昔語り」に35名が参加し、参加者が持参した写真の上映も行った。
- ④デジタル化した写真の提供を7団体、DVD化した映像の貸出を11件行い、デジタル化した資料を活用いただいた。図書館で古い写真を集めていることが知られ、様々な団体から写真の提供を依頼された。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成30年度は町内の地区の文化祭に写真の提供を行ったが、今後は区からの写真の提供の依頼と保存した写真の提供の案内を積極的に行っていき、歴史写真の保存と活用をさらに推進していきたい。

保存した写真データは今後インターネットを通じて公開し、より広い人に利用してもらえるようにする。また、このシステムの中で、町民自らがデータをアップできるような仕組みを作りたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ワークショップ「写真昔語り」】

### 【目標・ねらい】

- ①歴史的価値のある写真・動画を保存する。
- ②事業を通じて町民参加を図る。
- ③成果物を広く利用してもらう。

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

目標を上回る写真の保存ができた。博物館・歴史民俗資料館・図書館での写真展で多くの町民に見てもらうことができた。また写真データを町民に提供し利用してもらえた。ワークショップでは写真持参の参加者がいた